

よんでネット

< 中学・高校生 >



[NO.22~NO.41]

よんでネットとは…

茅ヶ崎市立図書館では、ボランティアの協力を得て、各年代にあわせた本を季節ごとに紹介しています。それが「よんでネット」です。

図書館本館ではよんでネットコーナーがあり、その季節のリストに掲載された本を置いてあります。今までに紹介された本は、背表紙に「よ」というシールが貼ってあります。シールの色は、春：緑、夏：青、秋：オレンジ、冬：紫と季節ごとに分けてあります。もし本棚で見つけたらぜひ手にとって読んでください。

～協力ボランティアの紹介～

茅ヶ崎図書館・子どもの本の会

平成13年度の「読み聞かせ講習会」の講師、スタッフが集まり、すべての子どもたちが喜びの中で育ってくれることを願って会を結成。図書館、小学校、学童保育等で読み聞かせ活動を行っています。

小学生・中学生・高校生向けにおすすめ本を紹介する「よんでネット」を季節ごとに発行しています。

目次

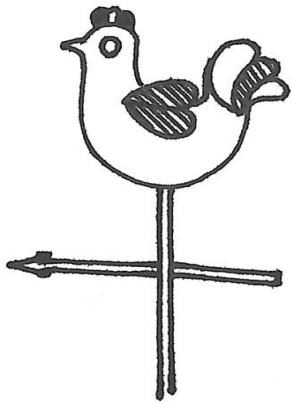
絵本

むかしばなし	1 ページ
ものがたり	1 ページ
詩・ことば	3 ページ
知識の本	3 ページ

読み物

ものがたり（日本）	5 ページ
ものがたり（外国）	10 ページ
詩・ことば	19 ページ
知識の本	22 ページ

※NO. 22（2007年）～NO. 41（2011年）までに掲載されたものを、それぞれのジャンルごとにまとめて紹介しています。



★絵本…むかしばなし★

1	山からきたふたご スマントリとスコソロノ	乾千恵／再話 早川純子／絵 松本亮／監修	
<p>神々が人間界と行き来していたはるか昔、美しく生まれた兄スマントリと、醜さゆえに捨てられ不思議な力を身につけた弟のスコソロノの数奇な絆の物語。醜くても優しい弟は、窮地におちいる兄をいつも救ってきた。ところが兄は、王の命令に従って弟を殺してしまう。弟の魂と兄の運命はいかに！みごとな語りと迫力満点の版面により、さあ影絵芝居のはじまり、はじまり！</p>		福音館書店	
			E
			2010年 夏



★絵本…ものがたり★

1	オーケストラの105人	カーラ・カスキン／作 マーク・サイモント／絵 岩谷時子／訳	
<p>金曜日の夜です。そとがだんだん暗くなり、家々にあかりがともる頃、町では105人のひとが、しごとに出かけるしたくをしています。シャワーを浴びて髪を整え、黒と白の服を着て、家族や犬、猫、小鳥たちに「いってきます」をいいます。105のドアが開きました。それぞれ、手に手に楽器を持ち、町のまんなかにある大きな舞台を目指します。</p>		すえもりブックス	
			E
			2011年 秋
2	彼の手は語りつぐ	パトリア・ポラッコ 千葉茂樹／訳	
<p>奴隷制の廃止をめぐる南北戦争。そのさなかに出会った二人の少年兵。深く考えず戦争に参加した白人少年シェルダン。部隊から逃げ、彼は命を落としかけていた。そのシェルダンを命がけで助けたのは黒人少年ピンクス。彼は奴隷として生まれた。二人の友情と別れを語り継いだのは、生きのびることのできたシェルダン。そしてそれはその子から子へと語り継がれた。そして、私たちにも、今届いた。</p>		あすなろ書房	
			E
			2008年 夏

3 木を植えた男	ジャン・ジオノ／原作 フレデリック・バック／絵 寺岡襄／訳
冷たい北風がふきすさぶフランス・プロヴァンス地方の山深い荒地。人々が去り、廃墟と化した地で、男はたったひとりで木を植えていた。破壊をくり返した、第一次、第二次世界大戦のあいだも、男は黙々と木を植えつづけた。これは、30年という歳月をかけ、荒れはてた地を幸いの地としてよみがえらせたひとりの男の物語です。	あすなろ書房
	E
	2009年 春
4 しあわせな ふくろう	ホイテーマ／ぶん チェレスチーノ・ピッチ／え おおつかゆうぞう／やく
ふるくてくずれかかったいしのかべのなかで、ふくろうのふうふがしあわせにくらしていました。すぐちかくのひゃくしょうやでは、にわとりやがちょう、くじゃくやあひるたちが、たべたりのんだりけんかをしたりのくり返し。 ある日、鳥たちは、ふくろうがしずかになかよくくらしているのをふしぎに思い、わけを聞きに行きました。鳥たちを前にふくろうはしずかにはなしはじめました。	福音館書店
	E
	2009年 冬
5 氷河ねずみの毛皮	宮沢賢治／作 木内達朗／絵
吹雪の夜、イーハトヴからベーリング行きの列車に乗った人たちが、どんな目にあっただのか、これは、そのおはなし。 ベーリング行きの急行列車は、毛皮の外套をなん枚も着込んだ乗客を乗せて出発した。車内は酒をのんだり、自慢話をしたり賑やかだった。帆布の上着の船乗りの青年は、ひとり、窓のすき間から、雪の山脈や青い月をじっとみつめていた。夜があげた頃、列車は突然とまり、きみような闖入者（ちんにゅうしゃ）がなだれこんできたー。	偕成社
	E
	2010年 冬



★絵本…詩・ことば★

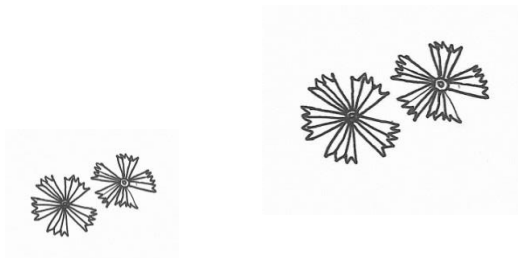
1	四字熟語ショウ	中川ひろたか／文 村上康成／絵
人間って、素晴らしいけど、しょうがない。だからおもしろい。昔の人はそれを漢字四文字で表現した。たとえば『一心不乱』ほかのことが気にならなくなるほど、夢中になること。この本ではさらに「カニ食べるときって、たいていの人、だまっちゃうけど」と続く。そんな一言に人間のおもしろさがみえてくる。		ハッピーオウル社
		E
		2008年 夏



★絵本…知識の本★

1	絵本 ジャンヌ・ダルク伝	ジョセフィン・プール／文 アンジェラ・バレット／絵 片岡しのぶ／訳
ジャンヌ・ダルクは1412年ごろ、フランスに生まれたふつうの少女だった。が、ある夏の日“天の声”を聞き、その運命は変わる。17歳のジャンヌは、劣勢だったフランス軍の先頭に立ち、強力なイギリス軍を打ち破る。奇跡的な勝利により、フランス救国のヒロインとなったジャンヌ。しかし、最後に彼女を待っていたのは火あぶりの刑だった。ジャンヌの短い人生を、美しく力強い絵とともにたどってみよう。		あすなろ書房
		E
		2010年 秋
2	くうきのかお	アーサー・ビナード／構成・文
画家は絵の中に、その時そこにしかない空気をとらえます。呼吸・風の動き・かすかな温度の差・目に見えない空気を絵は感じさせてくれるのです。画家が絵の中にとじこめた空気を、詩人がぴったりの言葉を添えて解き放ちます。感じるのはあなた。さあページをめくって！さまざまな空気の表情“くうきのかお”があらわれますよ。		福音館書店
		E
		2007年 春

3	ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸	ベン・シャーン／絵 アーサー・ビナード／構成・文
1954年3月1日、マーシャル諸島のビキニ環礁で水爆実験が行われマグロ漁船の第五福竜丸も、死の灰を浴びた。船員たちは自力で母港に戻り、水爆の生き証人となった。無線長をモデルに描かれたベン・シャーンの祈りに満ちた絵と、アーサー・ビナードの力強い言葉から、核廃絶の願いが伝わってくる。		集英社 E 2007年 夏
4	天動説の絵本	安野光雅
今は、地球が太陽の周りを回っているという「地動説」が常識ですが、昔の人は、地球が全宇宙の中心で、太陽がそのまわりをまわっている「天動説」を信じていました。そして、ずっと歩いていけば海があって、海の水は滝のように流れ落ちているにちがいないと思っていました。「地球は丸くて、天が動くのではなく、地球が動く」という真実は、天と地がひっくり返るほどのことだったので		福音館書店 E 2010年 夏
5	時間の森～屋久島	山下大明／しゃしん・ぶん
屋久島の森には、千年を越えて生きる「屋久杉」がある。倒木のまわりに若い杉が育ち、しっかりと大地をつかんでいる。7200年生きてきた「縄文杉」は、想像出来ない程の長い時間を経て、堂々と立ち、まわりの生き物に栄養を与え、森を豊かにしてきた。その姿は神秘的で、それでいて温かく、やさしい。		そうえん社 E 2009年 秋



★読み物…ものがたり（日本）★

1	家守綺譚	梨木香歩	
	<p>物書きの綿貫征四郎は亡き友人の実家に家守として住んでいる。ある日、亡くなった友人が掛け軸の中からボートに乗って尋ねてきたり、庭の百日紅から思いを寄せられたり、庭の池に河童が流れてきたり、人魚、小鬼、桜鬼など、いろいろな怪異が征四郎の周辺に現れては消えてゆく。 これはついこのあいだ、ほんの百年すこしまえの物語。</p>		新潮社
			913.6 ナ
			2008年 夏
2	一億百万光年先に住むウサギ	那須田淳	
	<p>ドイツのキール地方には、恋樹があるという。そして、ここ湘南の森の山桜にも一億百万光年先から舞い落ちた聖なるウサギがいるという噂がある。ひょんなことから精霊の助手にされた翔太は、桜の木に置かれる手紙のやりとりを手伝い、少女たちの悩みを知り、その親たちの過去の謎をたどっていく。疲れてウトウトした彼の前を宇宙服を着たウサギが、星の上をはね踊っていく……。</p>		理論社
			913 ナ
			2008年 冬
3	風が強く吹いている	三浦しをん／著	
	<p>「俺たちみんなで頂点を目指そう」ある日竹青荘（ちくせいそう）の住人たちに灰二（はいじ）は言った。「目指すは箱根駅伝」。この爆弾発言に怒号と混乱が渦まいた。無理もない。住人たちは同じ大学に通うとはいえ、音楽やマンガに明け暮れ不摂生な生活を送っている。日常走ることさえない。陸上とは無縁な者たちだ。しかし、4年間この日を待っていた灰二は言った。「俺たちなら不可能を可能にできる」。</p>		新潮社
			913.6 ミ
			2011年 冬
4	風の中のマリア	百田尚樹	
	<p>「陽差しを浴びて、体温が上がってくるのがわかる。背中の筋肉が温められるにつれて、翅の回転速度が上がリ、飛行速度が増す。…ぶうんという鈍い重低音の翅音を響かせながらマリアは谷間を駆け抜けた。」 マリアはオオスズメバチ。この本を読み始めるとすぐ私たちは、マリアと一緒に獲物を探し、野山を飛ぶ。そうして、驚きの蜂たちの生態を知り、短いけれどドラマティックな一生を目撃する。</p>		講談社
			913.6 ヒ
			2011年 秋

<読み物>

5 幸子の庭	本多明	<p>「おばけ屋敷よ！」とお母さんが大きな声を出してため息をついた。曾おじいちゃんが思いを込めて作った庭が荒れ放題なのだ。96才になる曾おばあちゃんが、人生最後の旅に、この庭を訪れるというのに・・・。</p> <p>幸子が電話帳で見つけた小橋造園の広告。ほどなく庭にパチン、パチンと植木職人の鋏の音が響く。遠くから風が渡り、庭も幸子も目覚めてゆく・・・。</p>	小峰書店
			913 ホ
			2009年 秋
6 鹿男あをによし	万城目学		
<p>奈良の女子校に赴任した「おれ」は、突然、奈良公園で鹿に話しかけられた。「さあ、出番だよ、先生」。</p> <p>頻発する地震から日本を救うには、1800年前から伝わる「サンカク」と呼ばれる神宝を、京都伏見稲荷の“狐の使い番”から受け取り、奈良に運ばなければならない。“しかの運び番”の指名をうけた「おれ」だが、“鼠の使い番”に宝を奪われる。戸惑う「おれ」は、人類の危機を救うことができるのか？</p> <p>TVドラマ以上に楽しめる、原作ならではのファンタジーです！</p>			幻冬舎
			913.6 マ
			2011年 秋
7 四季のピアニストたち 上 サマータイム	佐藤多佳子		
<p>素直でやさしい進、11歳。奇抜で勝気な姉佳奈、12歳。夏のある日、ふたりは13歳の広一と出会った。広一は、交通事故で左腕と父親を失い、大人びた雰囲気をも身につけていた。友情よりもっと特別ななにかでつながっていた三人。けれども広一が短い手紙を残して突然引っ越してしまう。</p> <p>そして、6年たった。再び姉弟の前にあらわれた広一は・・・</p> <p>*下巻で、「九月の雨」があります。</p>			偕成社
			913.6 サ
			2009年 夏
8 しゃばけ	畠中恵／著		
<p>舞台は花のお江戸。廻船問屋・長崎屋の若だんな一太郎はひとり息子で体が弱い。そんな一太郎を守っているのは、他ならぬ人に化けた妖(妖怪)、犬神の佐助と白沢(はくたく)の仁吉。おまけに一太郎の周りには“鈴彦姫”だの“ふらり火”だの“屏風のぞき”だの“鳴家(やなり)”だの妖が取り巻いている。ある夜、殺人事件を目撃した一太郎は妖たちの力を借りて下手人捜しに乗り出すが、どうもただの殺人事件とは違っていた…</p>			新潮社
			913.6 ハ
			2007年 夏

9 盾 SHEILD	村上龍 はまのゆか／絵
<p>犬を愛する少年、キジマとコジマ。いつも一緒にいたふたりは、やがて成長して別々の道を歩みはじめる。その人生の途中で迷い悩んだ時、二人が何度も思い出すのは、少年時代に出会った老人の話だった。「人間には盾、シールドが必要だ」。</p> <p>盾とは、自分の中のたいせつなものをを守るものだという。ふたりが手に入れた盾とは？</p>	幻冬舎
	913 Δ
	2008年 夏
10 哲夫の春休み	斎藤惇夫／作 金井田英津子／画
<p>中学生になる哲夫は、ひとり父の故郷長岡行き列車に乗った。順子という中年の女性が乗ってきて、哲夫は不思議な幻を見る。父の生家跡に行くと、さあっと春風が吹き「ようやく来てくれたのね」と声が。いつしか哲夫は、昔の時間に足を踏み入れ、幼い父や曾祖母や順子に会う。</p> <p>春浅い雪国で、めぐる時間と、大人になる少年の心が描かれています。</p>	岩波書店
	913 サ
	2011年 春
11 東京・自然農園物語	山田健
<p>「みなさんは、この4000坪の農地の相続人に指定されております。ただし最低5年間、無農薬・無化学肥料、それもトイレの下肥を使って営農すること！？都心の安アパートのワケあり住人に、死んだ偏屈な地主のじいさんが遺した遺言。</p> <p>ヤクザ、ホステス、学生、コピーライター、ずぶの素人4人が挑む有機農業。下肥作りに虫食い被害、はたして彼らは土地を手に入れられるのか？</p>	草思社
	913.6 ヤ
	2009年 秋
12 春のオルガン	湯本香樹実／作
<p>小学校を卒業した春休み、トモミは弟のテツと川原に放置されたバスで暮らそうとする。家に帰りたくない…隣の家とのトラブル、父母の不仲、しょっちゅう痛くなる頭、自分が怪物になってしまういやな夢・・・様子を見に来たおじいさんは、少年時代のつらい思い出をトモミに話してくれる。</p> <p>こどもから大人に変わっていく12歳の少女の戸惑いがていねいに描かれ、心に残る。</p>	徳間書店
	913 ヲ
	2009年 春

<読み物>

13	ビート・キッズⅠ・Ⅱ	風野潮／作
<p>「おまえにはリズム感がある！」英二は、ブラスバンド部の部長の七生にスカウトされた。「え？なんで？俺が？」だけど、ドッ、タン、ド、ド、タン…ドラムを叩くとほんまに楽しくなって、俺、やめられへんようになってしまった。ドラムを叩けば、どんなつらいことがあっても生きていける。</p> <p>Ⅱでは、高校生になった英二が、同級生3人とロックバンド「ビート・キッズ」を結成する。</p>		<p>講談社</p> <p>913.6 カ</p> <p>2007年 秋</p>
14	武士道シックスティーン	誉田哲也
<p>磯山香織 16歳、剣道歴13年、腕に自信あり。 甲本早苗 16歳、剣道歴3年、腕に自信なし。 中3の秋、横浜市民秋季剣道大会でふたりは出会い、戦い、磯山は甲本に負けた。何故・・・？納得のいかない磯山は、甲本を追い、剣道の名門、東松学園高校へと進学する。ふたりはむきあい、戦い、それぞれの武士道を模索していく……。続編は、「武士道セブンティーン」</p>		<p>文藝春秋</p> <p>913.6 ホ</p> <p>2008年 秋</p>
15	香港の甘い豆腐	大島真寿美
<p>17歳の彩美は、生まれたときから父親がいない。自分に自信がなく付き合いが苦手なので、学校もさぼるようになった。夏、母は突然、彩美を香港へと連れて行った。父に会わせるためだという。広東語が飛びかう活気に満ちた街で、香港人の父ロイ、母の友マリィや見知らぬ人々と関わるうちに、彩美の何かがちょっとだけ変わった。</p>		<p>理論社</p> <p>913.6 オ</p> <p>2010年 夏</p>
16	水底の棺	中川なをみ 村上豊／画
<p>村の水源である狭山池は、今や泥沼に変わり果てた。農作物が育たず飢える者、池の修理中に命を落とす者。苦しみ、悲しみの源のような池から逃れ、小松は京に上った。しかし、悲惨な都の生活で、いつも彼の心にあるのは幼なじみのゆうと生まれ故郷の池のこと。やがて、小松は、さまざまな人々の生に触れるうち、ついに、池と正面から向きあう。</p>		<p>くもん出版</p> <p>913 ナ</p> <p>2008年 冬</p>

17 夕暮れのマグノリア	安東みきえ
<p>12歳の灯子（とうこ）が、まだ5歳のころのこと、おじちゃんは亡くなる少し前、満開のマグノリアの木の下で灯子をだきあげ、ささやいた。「見えないってことは、いないってことにはならないんだよ」それから灯子の世界に魔法がかかった。あらわれるのは きまって夕暮れ時。光と闇のまざる時間、生と死の境目がぼんやりするころ。春、夏、秋、冬 灯子のふしぎな一年間のできごと。</p>	講談社
	913 ア
	2011年 春
18 義経千本桜	橋本治／文 岡田嘉夫／絵
<p>この『義経千本桜』は歌舞伎三大名作のひとつです。平家を滅ぼした源義経は、鎌倉の侍からその功績をねたまれ、ありもしない事を告げ口されて、兄の頼朝の怒りをかいます。いっぽう都の貴族は、義経と頼朝をわざと争うようにしかけて、義経を追いつめていきます。あでやかな色づかいと、繊細な線で描かれたため息が出るほど美しく妖しい歌舞伎絵本です。</p>	ポプラ社
	912 ポ
	2009年 春
19 夜のピクニック	恩田陸／著
<p>夜を徹して80キロを歩き通すという北高鍛錬歩行祭。甲田貴子はひとつの賭けを胸に秘め、高校生活最後の一大イベントに臨んでいた。今まで誰にも話したことの無い、とある秘密。アメリカへ転校した親友から来た謎めいた葉書。さまざまな想いを乗せ、歩行祭がスタートした。</p>	新潮社
	913.6 オ
	2007年 秋
20 リボン	草のたき／著
<p>卓球部女子には、卒業式に先輩から制服のリボンをもらう伝統がある。人気があるのは、卓球のうまさより、断然彼氏持ちの先輩。でも亜樹がリボンをもらう担当になったのは、試合にも勝てず、彼氏もいない池橋先輩だった。役目を遂行しに行った亜樹だったが、池橋先輩はその社交辞令的な儀式をあっさり断った。亜樹の中で何かが変わり始めた…。</p>	ポプラ社
	913 ク
	2010年 春

★読み物…ものがたり（外国）★

1	A LITTLE PIECE OF GROUND 僕たちの砦	エリザベス・レアード／作 ソニア・ニムル／協力 石谷尚子／訳	
	イスラエル占領下のパレスチナ。12歳の少年カリームの夢は、サッカーの世界チャンピオンになること。イスラエルの戦車に荒らされたグラウンド。外出禁止令が解除されると、瓦礫の山を片付けて、さあサッカーの練習だ！ここが“ぼくたちの砦”なんだ！厳しい現実にも遭遇しながらも、いつか自由を手にしたと願い、明るく生きる少年たちの物語。		評論社 933 レ 2009年 秋
2	FLUSH	カール・ハイアセン／著 千葉茂樹／訳	
	ノアの父親は、地元で大人気のカジノ船〈コーラルクイーン号〉をしずめてしまい、留置所にぶちこまれた。海の汚染の原因は、この船が汚水をたれ流しにしていることにあると世間に訴えたかったのだ。しかし告発の正しさは証明されない。父の汚名を晴らすには、たれ流しの証拠をつかむしかない。ノアと妹のアビーはある作戦行動に出た…。		理論社 933 ハ 2007年 夏
3	青いイルカの島	スコット・オデル／作 藤原英司／訳	
	これは19世紀中頃、アメリカで本当にあった話です。12才の少女カラナが「青いイルカの島」と呼ばれる小島でたったひとり、18年間も暮らしたというのです。島にとり残された少女は身を守るために、家を作り、武器や道具も作り、自然を恐れながらも、その恩恵に感謝し、ロンツーと名づけた野犬や生きものたちと心を通わせ暮らしていきます。そしてある日船が…。		理論社 933 オ 2010年 春
4	赤毛のアン	L. M. モンゴメリー 掛川恭子／訳	
	手違いで、孤児院から送られてきたのは、赤毛で、そばかすだらけの女の子のアン。ひきとったのは、みどりの切妻屋根の家に住む、老兄姉マシューとマリラ。おしゃべりで想像力豊かなアンに、ふたりは、どこかひきつけられたのです。プリンス・エドワード島のアンのお話。この物語が誕生して100年。(原作は1908年刊行)あなたのお母さんもおばあさんも、きっとアンを愛していると思います。全10冊シリーズです。		講談社 933 モ 2008年 夏

5 アグリー・ガール	ジョイス・キャロル・オーツ 神戸万知／訳
ある日、突然、教室に入ってきた私服刑事に、高校生のマットは任意同行される。身に覚えのない学校爆破テロ容疑をかけられたのだ。級友たちはマットが無実とわかっているのかかわりあいになるのをおそれだれも力になってくれない。ただひとり窮地を救ってくれたのは、自らを「アグリーガール(みにくいオナナのこ)」と呼ぶアーシュラだけだった。容疑はすぐに晴れたのだが・・・。	理論社
	933 オ
	2008年 春
6 アリスの見習い物語	カレン・クシュマン／作 中村悦子／絵 柳井薫／訳
こごえるような冬の夜、寒さをしのぐために、温かい堆肥の中にもぐりこんでねむる少女がいた。この少女には、家も親も、名前さえもなかった。強欲な村の産婆シェーンは、そんな少女を拾い、こき使う。自らをアリスと名づけた少女は、次第に産婆見習いとして自覚する。そして懸命に、産婆としての知識と技を身につけていくが…。	あすなろ書房
	933 ク
	2007年 冬
7 ウルフ・サーガ 上・下	ケーテ・レヒアイス／作 松沢あさか／訳
遠い昔、狼たちは「ワカの掟」に従い、外の生き物と自然を分かち合いながら平和に暮らしていた。そこに掟を無視し狼だけの楽園を作ろうとする巨大な黒狼の一団が襲いかかってきた。黒狼に抵抗し、父を殺されたシリキたち一族は、新天地を求めて逃亡する。雪山や砂漠を通り抜け、新しい仲間と出会って成長したシリキたちは、ワカの世界を取り戻すために、再び黒狼に立ち向かう。	福音館書店
	943 レ
	2010年 夏
8 王への手紙 上・下	トンケ・ドラフト／作 西村由美／訳
遠い昔、ダホナウト国の16歳の見習い騎士ティウリは、騎士叙任式の前夜、見知らぬ男に、隣国の王への重要な手紙を託されます。騎士になるために男の声を無視するか、救いを求める者を助けるといふ騎士の本分をつらぬくか、決断を迫られます。男を助けると決断したティウリは、困難と冒険の旅へ出発します。	岩波少年文庫
	908 イ
	2008年 秋

<読み物>

9	おばあちゃんはハーレーにのって	ニーナ・ボーデン／作 こだまともこ／訳
ヘルメットに皮ジャン。ハーレーでブイブイ飛ばすのは、あたしのおばあちゃんのプタ。プタは病院を定年になっても家で困っている人を治療してる。あたしの名前はキャット。両親は俳優。旅が多いので6才の時からずっとプタと暮らしている。そっけないけど、あたしをしっかり守ろうとしてくれるプタ。あたしたちは楽しく暮らしていた。ところが、中学生になった時、両親があたしをひきとるといつてきた…。		偕成社 933 ポ 2010年 春
10	おやすみなさいトムさん	ミシェル・マゴリアン 中村妙子／訳
第二次世界大戦のさなか、人嫌いで頑固な老人トムの上に、ロンドンから8歳のウィリーが疎開してきた。ウィリーは母親にせっかんされ、体中傷だらけ。おどおどして字も書けない。身も知らぬ子をしぶしぶ引き受けたトムさんだったが、ふたりはしだいに心を通わせるようになる。ところが、ウィリーは母親に連れもどされ、閉じこめられてしまった。そのとき、トムさんのとった思いきった奪回作戦とは…。		評論社 933 マ 2008年 秋
11	カッティング ルース 上・下	マイクル・Z・リューイン／著 田口俊樹／訳
メジャーリーグの黎明期のアメリカ。女であることをかくして野球選手となったジャッキーは、秘密を分かちあった無二の親友を殺した犯人を追ってイギリスへ渡ります。待っていたのは恐ろしいナイフ投げの芸人テディ。そして時を経てあらわれたもう一人の殺人者に殺されたのは誰？ 手に汗にぎる物語とジャッキーの祖母、野球選手だった父、そして彼女の三代の歴史が交互に語られます。		理論社 933 リ 2009年 冬
12	ギフト 西のはての年代記Ⅰ	ル=グウィン 谷垣暁美／訳
〈西のはて〉の高地では、体をねじる〈ねじり〉、切りさく〈ナイフ〉など、ギフトと呼ばれる不思議な力を受けつぐ領主によって領国が治められていた。 ところが、カスプロ領主の一人息子オレックにあらわれた破壊する〈もどし〉のギフトは自分では制御することのできない荒ぶるギフトだった。人を傷つけたり、殺めたりすることをおそれ、オレックは父に目を封印してもらおうが…。 西のはての年代記のシリーズは3巻まであります。		河出書房新社 933 ル 2011年 夏

13 銀の枝	ローズマリ・サトクリフ／作 猪熊葉子／訳
<p>紀元3世紀、ローマ帝国下のブリテン。百人隊長のフラビウスと、いとこで軍医のジャスティンは、皇帝の側近アレクトスの裏切りを知る。皇帝は暗殺され、追われる身になった二人は地下組織のリーダーとなり、故郷で見つけた「ワシ」を旗印に新皇帝に立ち向かう・・・ローマンブリテン四部作の二作目。他に「第九軍団のワシ」「ともしびをかかげて」「辺境のオオカミ」がある。</p>	
岩波書店	
933サ/9081	
2009年 夏	
14 草花とよばれた少女	シンシア・カドハタ／著 代田亜香子／訳
<p>アメリカの花農家で暮らす12歳のスミコは日系移民3世。第2次世界大戦が始まると、砂漠にある日系人の収容所に入れられた。そこで友だちになったのはインディアン居留区に暮らす少年フランク。フランクはストックの花を育てているスミコのことを「ウィードフラワー（草花）」とよんでいた。白人の地に暮らす、似たような境遇のふたりは、心の痛みを分かちあえるようになったが…。</p>	
白水社	
933 カ	
2011年 春	
15 雲じゃらしの時間	マロリー・ブラックマン／作 千葉茂樹／訳 平澤朋子／画
<p>授業で詩を書くことになった時、サムはデービーとのことを書きたいと思った。雲じゃらしの遊びを教えてくれたデービーは、みんなと違う感じ方をする秘密の友達だった。いじめの記憶、ぼっかり穴の開いた心。デービーがくれたものを確かめながら、サムの言葉は、失ってしまった友達にまっすぐ向かっていく。「生きるってすばらしいよね」。</p>	
あすなる書房	
933 ブ	
2011年 春	
16 クロニクル千古の闇1 オオカミ族の少年	ミシェル・ペイヴァー／作 さくまゆみこ／訳
<p>6000年前のヨーロッパ北西部の森。悪霊がのりうつった巨大なクマに倒された父との誓いを守り、トルクは森を救うため「天地万物の精霊」の宿る山を探す旅に出る。ともに行くのは子オオカミのウルフ、そして少女レン。精霊に捧げる「ナヌアク」とは？闇の中に待ち受けているものとは？ウルフの本能と、それを理解するトルク、レンの賢さに支えられ冒険は続く。「2巻 生霊わたり」「3巻 魂食らい」が出版されている。</p>	
評論社	
933 ペ	
2007年 冬	

<読み物>

17	サリーの帰る家	エリザベス・オハラ／作 もりうちすみこ／訳	
	「雇われ人の市？それって奴隷と同じじゃない！そんなもの、行かない。母さん、いやよ。」サリーはさげんだ。ふつうの農家の娘だったサリーの生活はお父さんの急死で、すっかり変わった。土地の借料を払うために、半年間働きに出なければならなくなったのだ。 11月、強風の吹きすさぶ日、サリーと妹のケイティは「雇われ人の市」に立った……。		さ・え・ら書房 933 オ 2010年 秋
18	三国志 上・中・下	羅貫中／作 小川環樹/武部利男／編訳	
	「三国志」は、中国では、だれひとり知らぬ者はないという程、広く知られている。西暦169年～280年のおよそ百年の間、中国は魏・蜀・呉の三つの国に分かれて争っていた。その時代に生きた武将たち、蜀の劉備、関羽、張飛のきずな、諸葛孔明の頭脳、魏の曹操の勇猛さ、呉の孫権の冷静な目……。英雄豪傑たちが、中国の大地を駆けめぐります。		岩波少年文庫 908 イ 2008年 春
19	シカゴよりこわい町	リチャード・ペック 斎藤倫子／訳	
	シカゴ生まれの兄妹、ジュイーとメアリ・アリスは、毎年夏に一週間、おばあちゃんの家泊りにいく。型破りで豪胆なおばあちゃんといると、なにが起こるかわからない。銃はぶっぱなす、大ボラはふく、法は無視する。牛乳瓶にネズミをいれる……。 コワイけどおもしろい、胸のすくような田舎町での夏の日々。続編「シカゴより好きな町」では、メアリ・アリスが祖母と暮らすことになる。		東京創元社 933 ペ 2008年 夏
20	縞模様のパジャマの少年	ジョン・ボイン／作 千葉茂樹／訳	
	大都会のベルリンから、突然見知らぬ土地に引っ越してきた9歳のブルーノ。新しい家の前にはどこまでも続く巨大なフェンス。向こう側には、無数の小屋と大勢の縞模様のパジャマを着た人が見える。彼らが誰か、何をしているのか、誰もブルーノに答えてくれない。遊び相手もないブルーノは、ある日フェンス越しに自分と似たひとりの少年に会う。 第二次世界大戦下のナチス・ドイツによるユダヤ人強制収容所を背景にしたフィクション。		岩波書店 933 ボ 2009年 春

21	ステフィとネッリの物語	アニカ・トール／著 菱木晃子／訳
<p>第2次世界大戦の初期、オーストラリアのユダヤ人姉妹はナチスの迫害を逃れ、スウェーデンの小さな島に疎開した。父のような医師をめざし学業に打ちこむ姉のステフィ。オペラ歌手だった母に似て美しい声の妹ネッリ。1巻から4巻の間に6年の歳月が流れ、戦局は厳しくなり、両親とも連絡がつかなくなってくる。姉妹は宗教や習慣の違い、差別に苦しみつつも、養い親や友人に支えられ成長していく。 *1巻「海の島」、2巻「睡蓮の池」、3巻「海の深み」、4巻「大海の光」。</p>		<p>新宿書房 949 ト 2010年 夏</p>
22	砂のゲーム ぼくと弟のホロコースト	ウーリー・オルレブ／作 母袋夏生／訳
<p>ウーリー・オルレブ少年は、裕福な家庭に生まれたが、ユダヤ人であるために戦争で母を殺され、2年にわたって弟と一緒に、強制収容所で過ごした。2人は、過酷で悲惨な中でも本を読み、鉛の兵隊やチェスの駒やトランプを使って戦争ごっこをして遊んだ。どんな時にも空想と冒険の心で、つらい時代を生き抜いた兄弟の実話です。</p>		<p>岩崎書店 929 オ 2009年 夏</p>
23	スノーグース	ポール・ギャリコ／作 アンジェラ・バレット／絵 片岡しのぶ／訳
24	<p>海辺の寂しい灯台に、一人の絵描きの青年が住んでいた。名前はラヤダー、人目を避けるように暮らし、大湿地に渡ってくる鳥たちと、絵を愛していた。ある年の冬、一人の少女が傷ついたスノーグースを胸に抱いて戸口に立っていた。アンジェラ・バレットの描く空と海の溶け合うような風景が美しい。</p>	<p>あすなる書房 933 キ 2007年 冬</p>
とむらう女		ロレッタ・エルスワース 代田亜香子／訳
<p>ママを亡くしたあたしたちのためにフローおばさんがやってきた。おばさんは、死んだ人を清めて埋葬の準備をする“おとむらい師”だった・・・。 19世紀半ばのアメリカ、ミネソタの大草原を舞台に、母の死の悲しみを乗り越え、死者を送る仕事の尊い意味を見出していく少女イーヴィの物語。</p>		<p>作品社 933 エ 2010年 秋</p>

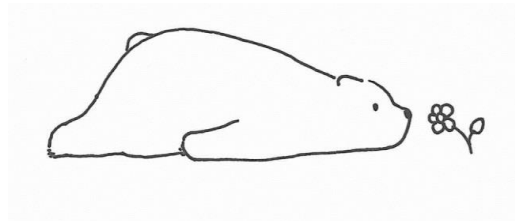
<読み物>

25	猫の帰還 Blitzcat	ロバート・ウェストール／作 坂崎麻子／訳
1940年、空軍パイロット ジェフリーが出征したので、妻のフローリーは、猫のロード・ゴードを連れて田舎に疎開した。でもロード・ゴードはその地になじめず、不思議な第六感に導かれ、出征したジェフリーを求めて旅立った。軍務で転々と居場所が変わる主人を追って、猫はさまざまな人に出会い、飼われながらも旅を続けていく。		徳間書店 933 ウ 2009年 冬
26	びんの悪魔	R・L・スティーンソン／作 よしだみどり／訳 磯良一／画
貧しいケアウエは不思議なびんを買った。そのびんの中には悪魔がいて、持ち主の望みはなんでもかなえてくれるが、びんを売る前に死ぬと地獄に落ちるといふ。そして、買った値よりも安く売る決まりがあった。ケアウエは、お金持ちになるとすぐこのびんを売ったが、愛する人が出来たとき、また、そのびんを買うはめになる。しかも売ることの出来ない最安値で……。		福音館書店 933 ス 2010年 秋
27	ヘラジカの森で	メアリ・カサノヴァ／著 高田裕子／訳 北川健次／画
12才の少年セスは、母さんの連れ子。禁漁区監視員の父は本当の父さんじゃない。セスは両親に無断で猟に出かけ、勇気のあかしとしてウサギを撃った。父さんが知ったら何というだろう……。その森でセスは密猟者がヘラジカを殺すのを見てしまう。せめて残された子ジカを守ってやりたい。セスは友だちのマットとともに密猟者に立ち向かう。		文溪堂 933 カ 2010年 冬
28	辺境のオオカミ	ローズマリ・サトクリフ／作 猪熊葉子／訳
紀元3世紀、ローマ帝国下のブリテン。若き百人隊長アレクシオスは判断を誤り、多くの部下を失ってしまう。失意の中、辺境守備を命じられるが、そこには「オオカミ」と呼ばれる荒くれ者の部下達が待ちうけていた。信頼を得ようと努力する中、軍に協力する部族の長男との間に友情が生まれ、新しい希望が見え始めるが、又もや悲劇がおこり……。ローマンブリテン四部作の第四作目。		岩波書店 933 サ 2011年 冬

29	希望のいる町	ジョン・バウアー 中田香／訳	
	<p>高校生の女の子ホープは、親がわりで腕ききのコックのおばと新しい町のレストランへやってきた。ところが白血病をわずらう店主のG.Tが病をおして町長選に立候補。 ホープたちも選挙を応援することになった。現職の町長は汚いやり方で次々と妨害してくる。町の人々の幸せのために戦う誠実なG.Tは勝利をつかむことができるだろうか。</p>	作品社	
		933 バ	
		2011年 夏	
30	僕らの事情。	デイヴィット・ヒル 田中亜希子／訳	
	<p>「ゴール！」車いすのモーターを全開にして、サイモンがゴールポストに突っ込む。クラスメイトの歓声。サイモンとネイサンは15歳。女の子の話で盛り上がり、ゲームにはしゃぐ高校生。だがサイモンは筋ジストロフィーという病で筋力が少しずつ衰えている。現実を受け止め、同情や感傷をはねつけるサイモン。鋭いジョークを繰り返すのは親友ネイサン。友達がいたからできることが描かれている。</p>	求龍堂	
		933 ヒ	
		2008年 春	
31	マルベリーボーイズ	ドナ・ジョー・ナポリ 相山夏奏／訳	
	<p>毎晩泣いていた母さんは、子どもに靴をはかせてあげられる豊かな暮らしにあこがれていた。ある夜、母さんは有り金を払って、僕ひとりだけを船に乗せた。 行き先はアメリカ。密航だった。 9歳の僕が持っていたのは、母さんがなけなしの金で買ってくれた靴だけ。母さんは生きのびろといった。そのためには、知恵と勇気が必要だった。</p>	偕成社	
		933 ナ	
		2010年 秋	
32	ミムス—宮廷道化師—	リリ・タール／作 木本栄／訳	
	<p>王子フロリーンは、敵王の謀略によって捕らえられ、宮廷道化師の弟子にさせられる。 蔑まされ、屈辱に耐える過酷な道化の日々。 逃げれば地下牢に囚われている父王の命がない。道化の師匠ミムスは、得体の知れない謎の人物で、敵なのか味方なのかわからない。はじめは嫌悪し、軽蔑していたフロリーンだったが、その真のすごさを目の当たりにして・・・。</p>	小峰書店	
		943 タ	
		2010年 冬	

<読み物>

33	ミルクウィード 天使の羽のように	ジェリー・スピネッリ 千葉茂樹／訳
<p>ここはワルシャワ。時は第二次世界大戦の真っ只中。“ぼく”はジプシーなのか、ユダヤ人なのか、名前も素性もわからない。小さな身体と足の速さを武器に命をつないでいく。ミルクウィードの綿毛がふわふわ宙を舞うように、“ぼく”はいたいどこに行くのだろうか。</p>		理論社 933 ス 2010年 冬
34	メープルヒルの奇跡	ヴァージニア・ソレンセン 山内絵里香／訳
<p>戦争から別人のようになって帰ってきたお父さんの心を癒すために、マーリーたち一家は“メープルヒル”（かえでが丘）に移り住みます。メープルヒルの奇跡を信じて…。最良の隣人クリスさんに助けられながら、畑を耕し収穫し、命あるものの神秘を見つけながら自然のなかでくらすことは、マーリーの家族を変えていきます。春、カエデの木をのぼってくる樹液を集め琥珀色のメープルシロップを作ります。そして奇跡は本当におこりました。</p>		ほるぷ出版 933 ソ 2007年 春
35	夢の彼方への旅	エヴァ・イボットソン／著 三辺律子／訳
<p>両親を亡くしたマイアは、家庭教師ミントン先生と、ロンドンを発って、アマゾン川を遡る船に乗った。西洋人が密林に開いた町に親戚が見つかったのだ。けれども、一家は原住民を拒み、マイアの遺産を狙った。失望したマイアだが、何故かアマゾンに詳しいミントン先生に導かれ、謎の少年フィンと出会って、生命あふれるこの土地に魅せられていく。</p>		偕成社 933 イ 2008年 秋



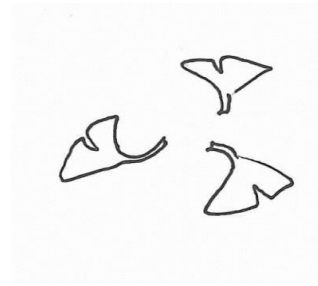
★読み物…詩・ことば★

1	〈詩集〉 ころのうた	八木重吉 他／詩 初山滋／装画
<p>茅ヶ崎ゆかりの詩人、八木重吉はじめ、大正から昭和初期の代表的な詩人14人の抒情詩50編を集めた詩画集です。 八木重吉の「静かな焰」等11編の詩に始まり、中原中也の「汚れちまった悲しみに」、高村光太郎の「レモン哀歌」、宮沢賢治の「永訣の朝」…と続きます。 初山滋の装画は、詩の息づかいまで引きだし、どの詩も、清冽に読むもののこころにしみ通ります。</p>		<p>童心社 911 ヤ 2007年 春</p>
2	THE ANIMALS どうぶつたち	まどみちお／詩 美智子／選・訳 安野光雄／絵
<p>スワン みえています／なにかのしあわせで／とくべつに／みえているかのように A SWAN You stand out clearly／As if some sort of joy／Made you／ Especially visible 「地球はふるさと」とまどさんは言います。 地球に生かされている動物たちのことを詠ったまどさんの詩を世界の子どもたちに知ってもらおうと皇后・美智子さまが英語に訳されました。 よく知られた童謡「ぞうさん」も載っています。</p>		<p>すえもりブックス 911 マ 2009年 冬</p>
3	アーサー・ビナード詩集 ゴミの日	アーサー・ビナード 絵=古川タク
<p>日本にやってきて20年のアメリカ人ビナードさんが、日本人の生活をユーモアをまじえた詩で紹介。“学校の椅子にはかせてあるテニスボール” “学校の制服で塾に集まる高校生” こんな不思議な日本人なら、“ジャックの豆の木から、世界中の人が食べきれないほど巨大なお豆腐を作る” かも・・・詩人の独特の感性を楽しんでください。</p>		<p>理論社 911 ビ 2009年 夏</p>
4	ウォルター・デ・ラ・メア詩集 孔雀のパイ	エドワード・アーティゾーニ／絵 まさき・るりこ／訳
<p>ことばは、ひとつひとつ意味をもち、奥行きとふくらみ、そして限りない広がりを持っています。そのことばで紡がれる“詩”その世界は美しく不思議で、ある時はおかしく、またある時はせつなく、懐かしく、時には少しこわい。昔、イギリスでは“孔雀のパイ”は“珍しい高貴な御馳走”といった意味合いを持っていたそうです。 …さあ、ページを開いてあなたもとびきりの御馳走を召し上がれ。</p>		<p>瑞雲社 931 デ 2007年 夏</p>

<読み物>

5 おはつ	工藤直子	<p>春は始まりの季節。初めましての「おはつ」の季節。気分一新、希望で胸がワクワク!でも、ちょっと不安……。そんなあなたに、初々しいカエルの、「おはつ」のびよん。 さて・・・飛ぼう しんばいない さあ・・・飛ぼう しんばいない よし・・・飛ぼう ぴょーんと飛んだ いざ・・・飛ぼう そのさきに ほれ・・・飛ぼう 新品の世界が待ってるぞ・・・そうれ! みずみずしい「おはつ」がいっぱいの、フォトエッセイ絵本です。</p>	小学館
			911.5 ク
			2008年 春
6 ことばの力 しゃべる・聞く・伝える	川崎洋／著 (岩波ジュニア新書)	<p>わたしたちは空気を呼吸するように、ことばを呼吸しています。朝の「おはよう」、授業中は教科書の文字とにらめっこ、休み時間は仲間とおしゃべり…。こんなふうに、なにげなくことばを口にしています。 この本では、詩人である著者が、ことばというものをあらためて見つめなおします。そして、ひとの気持ちを受けとめ、自分の思いや考えをあまさず伝えるにはどうしたらよいかを語ります。</p>	岩波書店
			81 カ
			2007年 秋
7 このあいだのかぜに	東君平	<p>このあいだの かぜに／くりのみ おちた かれはの うえで／けがせずに すんだ はげしいかぜ、やさしいかぜ・・・ なつかしく愛らしい日常の風景、ユーモア、あなたに伝えたい気持ち、「このあいだの かぜに」のって届いてきます。四行詩につづった風の中でのスケッチです。</p>	くもん出版
			911 ヒ
			2008年 秋
8 写真短歌部 放課後	加藤千恵／短歌 タクマクニヒロ／写真	<p>フィルムがあまってるって言ったけど それはほんとは口実でした。いくつもの言葉を重ねて、やっと伝えられる気持ちがある。でも、余計な言葉を削ったほうが、ずっと素直に伝わることもあるよね。三十一文字で切りとられた学校生活のふとした瞬間。短歌にぴったりの写真も添えられています。「あっこれ自分だ」って思う一首に出会えるかも・・・。</p>	雷鳥社
			911.1 カ
			2008年 冬

9	すこやかに おだやかに しなやかに 谷川俊太郎	
<p>『ダンマバダ』(法句教)の英訳を底本にして、詩人が共感するところを自由に日本語にしました。 「・・・私のころはどんな色?/きれいな色にころをそめたい/ きれいな色ならきっと幸せ/すぎとおっていればもっと幸せ」 「・・・怒りが閉ざす/ころを閉ざす/うぬぼれがしぼる/ ころをしぼる/おだやかにあれ ころよ/ のびやかに しなやかに はれやかに」 一日一日をたいせつに生きてゆきたいと思わせてくれる詩集です。</p>		佼成出版社
		911.5 タ
		2009年 春
10	百人一首大事典 吉海直人/監修	
<p>お正月明けに「百人一首かるた大会」をする学校、ふえていますね。冬休みに百人一首を覚える人もいるでしょう?そこで、この事典からコツを一つ伝授しましょう。“むすめふさほせ”これは「一字決まり」といって最初の一文字が読まれたとき、すぐに取り札を探すことができる7枚の歌の頭文字です。この事典で百人一首に強くなったらいざ出陣!!</p>		あかね書房
		911 ア
		2007年 冬
11	二人が睦まじくいるためには 吉野弘/詩	
<p>二人が睦まじくいるためには/愚かであるほうがいい 立派すぎないほうがいい/立派すぎることは 長持ちしないことだときづいているほうがいい</p>		童話屋
<p>正しいことを言うときは/少しひかえめにするほうがいい 正しいことをいうときは/相手を傷つけやすいものだと 気付いているほうがいい</p>		911.5 ヨ
<p>巻頭を飾る、この『祝婚歌』は、世界のあらゆる「ふたり」に捧げられている。</p>		2010年 冬



★読み物…知識の本★

1	100年前の女の子	船曳 由美／著	
	これは一人の女の子の物語である。女の子の名前は寺崎テイ。平成21年で百歳になった。テイは米寿を過ぎたころから心の奥の封印をといったように自分の生い立ちを語りはじめた。栃木県高松村に生まれたテイが話した村の四季おりおりのくらしは日本のどこにもあった。百年前の一人の女の子が何を感じ何を学んだか私達自身の祖先を見る思いがする。		講談社
			289.1 フ
			2011年 冬
2	15歳の寺子屋 「フラフラ」のすすめ	益川敏英／著	
	ノーベル物理学賞を受賞した益川先生。中学の時間は「内職」に精を出し、好奇心の向くままに本を読み漁る少年でした。高校1年で最先端の研究を知り、どんな努力も楽しく感じられる「物理学」に出会います。戦争を体験し、戦争に利用される恐れもある科学の世界に従事する先生は、皆さんに世の中の動きをみつめ、憧れを完成させてほしいと伝えています。		講談社
			28 マ
			2010年 春
3	NASAより宇宙に近い町工場 一僕らのロケットが飛んだー	植松努	
	北海道の田舎赤平市にある「植松電機」は小さな町工場。ところがロケットや人工衛星も作っている。ここにある無重力実験施設は世界に三カ所しかない。だからNASAの人までやってくる。植松社長は「『どうせ無理』という言葉がこの世からなくしたい」と語る。その心意気はNASAより宇宙に近い！		ディスカヴァー
			538 ウ
			2011年 夏
4	アフガニスタン 山の学校の子どもたち	長倉洋海	
	戦争の傷跡の残るアフガニスタン。標高2780メートル。雪どけ水が流れこむ川のほとりに山の学校はあります。校舎には窓ガラスも扉もなく、放牧中の牛が入ってきて授業が中断することがあります。それでも、子どもたちは、学校に行けるのがうれしくてたまりません。真剣なまなざしと、はじける笑顔に学ぶよろこびが伝わってきます。		偕成社
			74 カ
			2007年 春

5 アラスカ 光と風	星野道夫	
<p>星野道夫という人を知っていますか。アラスカに魅了されて、その自然の美しさと偉大さを撮りつづけた写真家です。また細かな感性と大胆な気質で、日々感じたことを心の響く言葉にして残しました。 残念にも、1996年カムチャッカで亡くなりましたが、この本は、星野さんとアラスカとの出会い、関わりがわかりやすく書かれ、また写真も魅力的です。星野道夫の世界を開く第一冊としてお薦めです。</p>		福音館日曜文庫
		29 ホ
		2009年 冬
6 一色一生	志村ふくみ	
<p>幼な子ふたりをかかえ離婚した著者は、母に励まされ、植物染料による染色と紬糸による手織りを始めます。さまざまの植物の花・実・葉・幹・根で染めるなかで、染められた色は、単なる色ではなく、色の背後にある植物の命が色をとおして映し出されるのだと悟ります。染めとは植物の命をいただくことだと。染織作家が思索的に語ったエッセーと講演録です。</p>		求龍堂
		753 シ
		2007年 春
7 宇宙のかけら	竹内薫／文 片岡まみこ／絵	
<p>なぜ、この宇宙はあるの？これから宇宙はどうなるの？ いつか地球のうえの生命にも、この宇宙にもおわりがくるかもしれない。 それでも、星のかけらからつくられたわたしたちが、ほんの一瞬、輝いて生きることには意味がある。 この絵本では、猫のカロアが飼い主のカオルから学んだ、宇宙の誕生から終わりについて語っていきます。</p>		講談社
		440 タ
		2009年 秋
8 うめめ Today's Happening	梅佳代	
<p>町を歩いているとき、ふっと目に入る風景がある。つぎの一步を踏み出したらもうわすれてしまうのだけれど、一瞬あたまの中にパッと写る風景。写真家梅佳代の目はそんな風景を忘れない。いるよね！あんな人。あるなあ！こんなこと。やったよ！そんな風に。「うめめ」の中で、そんな風景に出会ってみるのも悪くない。</p>		リトルモア
		748 ウ
		2008年 冬

<読み物>

9 絵のえほん	視覚デザイン研究所／編 早坂 優子／著
<p>美術の時間は好き？絵がうまく描けないから嫌い？でも、紙の上での不思議な出来事を知れば、君の絵はどんどん変身していく。たとえば「かげ」。光のあたる反対側に「かげ」をつければ、ただのマルはボールに変身。見る角度を変えて描けばボールはリンゴにも変身できる。そのリンゴがだんだん遠くなっていき・・・と感じたままに描くための「絵のえほん」です。</p>	
視覚デザイン研究所	
724 ハ	
2011年 冬	
10 絵本 夢の江戸歌舞伎	服部幸雄／文 一ノ関圭／絵
<p>“歌舞伎”と聞いて知らない人はいないと思いますが、実際に見た人は、少ないかもしれませんね。今では庶民に縁遠くなってしまった歌舞伎。実は江戸時代、大衆の中で生まれ、生活に密着したお芝居だったのです。ですから今より、もっともっと楽しくおもしろい娯楽でした。どのページからも、庶民のエネルギーがあふれています。</p>	
岩波書店	
774 ハ	
2007年 冬	
11 科学と科学者のはなし	池内了／編
<p>明治生まれの物理学者の随筆ですが、古さも、物理という堅苦しさも感じさせません。茶碗から立つ湯気でわかる気象のメカニズム、一定方向をむいて止まるトンボの真相、電車の混雑に注目してわかった人間の所行、など日常身の不思議な現象に目を向けてみることの楽しさが伝わってきます。折しも、随筆の書かれた昭和8年、三陸に大津波が襲来、繰り返される災害についても綴られています。</p>	
岩波少年文庫	
908 イ	
2011年 秋	
12 感動ストーリーズ7 知への欲求、未知への挑戦	岡野雅行他
<p>目の前に立ちふさがる厚い壁を、必死に努力し、乗り越えてきた挑戦者たちのあくなき“知への欲求と未知への挑戦”。</p> <p>尾ひれを失ったイルカを救うために結成された人工尾びれ開発プロジェクトチーム。不可能といわれた青いバラを咲かせたある企業。有名、無名に関わらず、できることをやりつくした人々の感動の物語5話が収録されている。</p>	
学習研究社	
28 ガ	
2009年 秋	

13	<p>国境を越えて 戦禍を生きのびたユダヤ人家族の物語</p>	<p>ウィリアム・カプラン、シェリー・タナカ／文 シュテファン・テイラー／絵 千葉茂樹／訳</p>	<p>BL出版</p> <p>31 カ</p> <p>2011年 秋</p>
14	<p>さかなのなみだ</p>	<p>さかなクン</p>	<p>リヨン社</p> <p>37 サ</p> <p>2011年 夏</p>
15	<p>ジャガイモの花と実</p>	<p>板倉聖宜／著 藤森知子／絵 仮説社 板倉聖宜／著 楠原義一／画 福音館書店</p>	<p>仮説社／福音館</p> <p>47 イ</p> <p>2011年 春</p>
16	<p>世界のたね 真理を追いもとめる科学の物語</p>	<p>アイリック・ニュート／著 猪苗代英徳／訳</p>	<p>NHK出版</p> <p>40 二</p> <p>2008年 春</p>

<読み物>

17 世界を動かした 塩の物語	マーク・カーランスキー／作 S. D. シンドラー／絵 遠藤育枝／訳
「兵士(ソルジャー)」「給料(サラリー)」「サラダ」どれも「塩」が語源になっています。なぜでしょう？答えは、私たちと塩との歴史の中に隠されています。今では、お店に行けば簡単に手に入る塩ですが、昔はたいへん貴重なものでした。人々は塩をめぐる争い、危険をおかして採掘し、密輸までしたのです。普段何気なく使っているその塩が、かつて世界を動かした……。これは、塩と人間との歴史の物語です。	BL出版
	66 カ
	2009年 夏
18 だまされる目 錯視のマジック	竹内龍人／監修・解説
この表紙の「うず巻き」を指でなぞっても中心にたどり着けない!? 「うず巻き」に見えるのは、君の目がだまされているからだ。これは「錯視」と言って、目から入った情報を脳で処理するときに起こる。人間の脳は生き延びるために「あえてだまされる」道を選んだのだ。その謎は、この本のいろいろな「錯視」を体験してもらいながら解き明かす事にしよう。	誠文堂新光社
	14 セ
	2011年 夏
19 半分のふるさと	イクンサム／著 帆足次郎／画
1910年日本は朝鮮を植民地として支配し、そこに住む人々の歴史も人権もすべて奪ってしまった事を、あなたは知っていますか？多くの朝鮮の人たちが日本移住を余儀なくされ、日本で生まれた子どもたちは迫害され貧しい生活の中で祖国を思う親たちの苦悩を見て育ちます。作者もそのひとり。子どもの目を通して見た真実を私たちに教えてください。真実を「知ること」の大切さを知る一冊。	福音館書店
	916 イ
	2007年 夏
20 ヒトラー・ユーゲントの若者たち —愛国心の名のもとに—	S.C.バートレッティ 林田庫一／訳
この物語は、ヒトラー・ユーゲント（ヒトラー青年団）の元団員や、ナチス政権下を生き延びたユダヤ人へのインタビュー・調査を続け、当時子どもだったこれら普通の人々の言葉をもとに書かれている。ドイツの若者たちが洗脳されていくさまが手に取るようにわかり背筋の凍るような恐怖を感じると共に、権力に利用された若者たちの痛ましさに胸がつぶれる。	あすなろ書房
	37 バ
	2011年 夏

21	ブナの森は宝の山	平野伸明／文 野沢耕治／写真
<p>町に暮らしているわたしたちは、自分の周りに同じ時間を生きている生きものがいることに気がつきません。この本では、秋田県奥森吉の深いブナの森の四季の姿を写真と文で綴っています。水を蓄える巨木の群れ、水辺の魚、子育てをする鳥、いっせいに熟する木の実。大昔から変わらない森で、さまざまな生命は関わりあいながら息づいています。</p>		<p>福音館書店</p> <p>65 ヒ</p> <p>2007年 秋</p>
22	風呂敷	ふるしき研究会／監修 森田知都子／文
<p>風呂敷の由来、皆さんはご存じですか？一枚の布なのに、どうしてこの名前がついているのでしょうか。</p> <p>それは、江戸時代に普及していたお風呂屋さんで湯上がりに一人ひとりが敷いていたから、文字通り風呂の敷物というわけです。そして、着替えや荷物をその風呂敷に包んで帰りました。その後、「包む」方が主になり、庶民のくらしに浸透していきます。</p> <p>さまざまに変化する一枚の布の不思議。風呂敷ワールドへようこそ！</p>		<p>文溪堂</p> <p>38 モ</p> <p>2008年 冬</p>
23	まだ17才だけど、人生って面白いと思う	岩渕大起
<p>僕は、岩渕大起。生まれて間もない時期から何度も大きな手術をしてきた。第二頸椎脱臼のため、歩けない。手術のたびにそばにいる母を気づかって元気いっぱい笑っていたんだけど、本当は不安で胸が張りさけそうだったんだ……。でも、詩人の星野さんに出会って、「がんばらなくていいんだよ」と言われて肩の力がスーッと抜けた。今も車いすが移動手段だけど、それにも面白いしかけがあるんだ。</p>		<p>ポプラ社</p> <p>289.1 イ</p> <p>2009年 冬</p>
24	水のことは	ネイチャー・プロ編集室／構成・文
<p>「水の惑星」地表の三分の二を海におおわれる地球のことである。奇跡としかいいようのない偶然に導かれ、この青く美しい星は宇宙に浮かぶ。地球に生きるものはいつも水に守られている。だから、私たちはあらゆる「ことは一言葉」で水を表す。</p> <p>「はしる水」「むすぶ露」「ささやく雨」…</p> <p>四季折々の水の世界を美しい写真と「ことは」で紡ぐ癒しの一冊。</p>		<p>幻冬舎</p> <p>452 ネ</p> <p>2010年 春</p>

<読み物>

25	みんなのなやみ	重松清／著
<p>人間は誰だってなやんでしまう。だったらなやみとの付き合い方を一緒に考えよう。「こんなことになやんでいる自分」になやむのはやめよう。そんな思いをこめて…。 「大人はどうしてピアスに反対するの？」（高2女子） 「親友がいじめられています」（小6女子） 「部活を頑張って続ける意味はあるのでしょうか？」（中2男子） など、作家の重松清さんが、みんなのなやみに答えます。</p>		<p>理論社 15 シ 2007年 秋</p>
26	雪は天からの手紙	池内了／編
<p>中谷宇吉郎は、雪の結晶を観察、分類して、気象予測をたてた物理学者である。観測機械から読み解くのではなく、降っている雪の結晶から導き出し、『雪は天からの手紙』という名言を残した。他に「立春の日にだけ卵を立てることができる」と信じられていたことを疑い、どんな条件で卵が立つか考察、実験したエッセイなど、科学は不得意・・・という人も面白く読めますよ。</p>		<p>岩波少年文庫 908 イ 2011年 冬</p>



おもしろそう！読んでみたい！続きが気になる！

でも待って・・・

★ここに載っている本はどこにあるの？

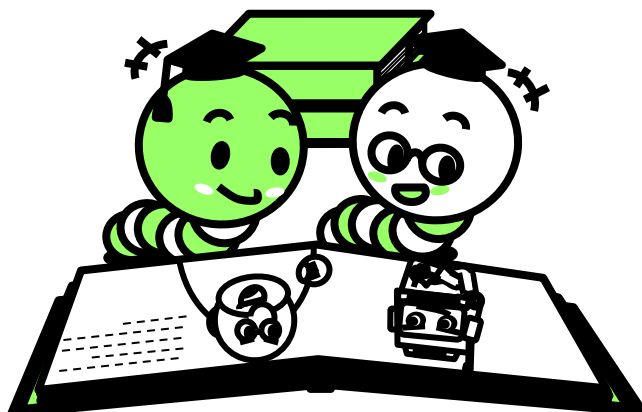
茅ヶ崎市立図書館にあります。
インターネットや検索機で本の場所が確認できます。
貸出中などで本がないときは予約ができます。
わからないことがあったら、おたずねください。

★検索したけど、本の場所がわからない。 請求記号って何？

請求記号とは、本の種類ごとに決まっている番号のことで0～9門に別れています。例えば、料理は5門、小説は9門となりますがそれぞれの門のなかでさらに細かい分類があります。詳しくは「日本十進分類法」に書いてあります。図書館では、請求記号で本がまとまっています。

★本棚を探したけど、見つけれない・・・

誰かが読んでいたり、貸出中の本や地下にある本かもしれません。調べますので、図書館職員におたずねください。



索引 (五十音順)

	タイトル	ページ	請求記号	掲載された号
あ	アーサー・ビナード詩集 ゴミの日	19	911 ビ	2009 年 夏 号
	青いイルカの島	10	933 オ	2010 年 春 号
	赤毛のアン	10	933 モ	2008 年 夏 号
	アグリー・ガール	11	933 オ	2008 年 春 号
	アフガニスタン山の学校の子どもたち	22	74 カ	2007 年 春 号
	アラスカ 光と風	23	29 ホ	2009 年 冬 号
	アリスの見習い物語	11	933 ク	2007 年 冬 号
	家守綺譚	5	913.6 ナ	2008 年 夏 号
	一億百万光年先に住むウサギ	5	913 ナ	2008 年 冬 号
	一色一生	23	753 シ	2007 年 春 号
	宇宙のかげら	23	440 タ	2009 年 秋 号
	うめめ Today's Happening	23	748 ウ	2008 年 冬 号
	ウルフ・サーガ 上・下	11	943 レ	2010 年 夏 号
	絵のえほん	24	724 ハ	2011 年 冬 号
	絵本 ジャンヌ・ダルク伝	3	E	2010 年 秋 号
	絵本 夢の江戸歌舞伎	24	774 ハ	2007 年 冬 号
	王への手紙 上・下	11	908 イ	2008 年 秋 号
	オオカミ族の少年-クロニクル千古の闇1	13	933 ペ	2007 年 冬 号
	オーケストラの105人	1	E	2011 年 秋 号
	か	おばあちゃんはハーレーにのって	12	933 ボ
おはつ		20	911.5 ク	2008 年 春 号
おやすみなさいトムさん		12	933 マ	2008 年 秋 号
科学と科学者のはなし		24	908 イ	2011 年 秋 号
風が強く吹いている		5	913.6 ミ	2011 年 冬 号
風の中のマリア		5	913.6 ヒ	2011 年 秋 号
カッティング ルース 上・下		12	933 リ	2009 年 冬 号
彼の手は語りつぐ		1	E	2008 年 夏 号
ギフト 西のはての年代記 I		12	933 ル	2011 年 夏 号
木を植えた男		2	E	2009 年 春 号
銀の枝		13	933サ/908イ	2009 年 夏 号
くうきのかお		3	E	2007 年 春 号
草花とよばれた少女		13	933 カ	2011 年 春 号
孔雀のパイ		19	931 デ	2007 年 夏 号
雲じゃらしの時間		13	933 ブ	2011 年 春 号
ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸		4	E	2007 年 夏 号
国境を越えて		25	31 カ	2011 年 秋 号
ことばの力しゃべる・聞く・伝える		20	81 カ	2007 年 秋 号

	タイトル	ページ	請求記号	掲載された号		
	このあいだのかぜに	20	911 ヒ	2008	年 秋 号	
さ	THE ANIMALS どうぶつたち	19	911 マ	2009	年 冬 号	
	さかなのなみだ	25	37 サ	2011	年 夏 号	
	幸子の庭	6	913 ホ	2009	年 秋 号	
	サリーの帰る家	14	933 オ	2010	年 秋 号	
	三国志 上・中・下	14	908 イ	2008	年 春 号	
	しあわせな ふくろう	2	E	2009	年 冬 号	
	鹿男あをによし	6	913.6 マ	2011	年 秋 号	
	シカゴよりこわい町	14	933 ペ	2008	年 夏 号	
	四季のピアニストたち下 九月の雨	6	913.6 サ	2009	年 夏 号	
	四季のピアニストたち上 サマータイム	6	913.6 サ	2009	年 夏 号	
	詩集こころのうた	19	911 ヤ	2007	年 春 号	
	縞模様のパジャマの少年	14	933 ボ	2009	年 春 号	
	ジャガイモの花と実	25	47 イ	2011	年 春 号	
	写真短歌部 放課後	20	911.1 カ	2008	年 冬 号	
	しゃばけ	6	913.6 ハ	2007	年 夏 号	
	15歳の寺子屋「フラフラ」のすすめ	22	28 マ	2010	年 春 号	
	すこやかに おだやかに しなやかに	21	911.5 タ	2009	年 春 号	
	ステフィとネツリの物語	15	949 ト	2010	年 夏 号	
	砂のゲーム ぼくと弟のホロコースト	15	929 オ	2009	年 夏 号	
	スノーグース	15	933 キ	2007	年 冬 号	
スマントリとスコスロノ	1	E	2010	年 夏 号		
世界のたね	25	40 ニ	2008	年 春 号		
世界を動かした 塩の物語	26	66 カ	2009	年 夏 号		
た	盾 SHEILD	7	913 ム	2008	年 夏 号	
	だまされる目 錯視のマジック	26	14 セ	2011	年 夏 号	
	知への欲求、未知への挑戦	24	28 ガ	2009	年 秋 号	
	哲夫の春休み	7	913 サ	2011	年 春 号	
	天動説の絵本	4	E	2010	年 夏 号	
	東京・自然農園物語	7	913.6 ヤ	2009	年 秋 号	
	時間の森～屋久島	4	E	2009	年 秋 号	
	とむらう女	15	933 エ	2010	年 秋 号	
	な	NASAより宇宙に近い町工場	22	538 ウ	2011	年 夏 号
		猫の帰還 Blitzcat	16	933 ウ	2009	年 冬 号
は	春のオルガン	7	913 ユ	2009	年 春 号	
	半分のふるさと	26	916 イ	2007	年 夏 号	
	ビート・キッズ I・II	8	913.6 カ	2007	年 秋 号	
	ヒトラー・ユーゲントの若者たち	26	37 バ	2011	年 夏 号	
	百人一首大事典	21	911 ア	2007	年 冬 号	

	タイトル	ページ	請求記号	掲載された号
	100年前の女の子	22	289.1 フ	2011 年 冬 号
	氷河ねずみの毛皮	2	E	2010 年 冬 号
	びんの悪魔	16	933 ス	2010 年 秋 号
	武士道シックスティーン	8	913.6 ホ	2008 年 秋 号
	二人が睦まじくいるためには	21	911.5 ヨ	2010 年 冬 号
	ブナの森は宝の山	27	65 ヒ	2007 年 秋 号
	FLUSH	10	933 ハ	2007 年 夏 号
	風呂敷	27	38 モ	2008 年 冬 号
	ヘラジカの森で	16	933 カ	2010 年 冬 号
	辺境のオオカミ	16	933 サ	2011 年 冬 号
	希望のいる町	17	933 バ	2011 年 夏 号
	僕たちの砦 A LITTLE PIECE OF GROUND	10	933 レ	2009 年 秋 号
	僕らの事情。	17	933 ヒ	2008 年 春 号
	香港の甘い豆腐	8	913.6 オ	2010 年 夏 号
ま	まだ17才だけど、人生って面白いと思う	27	289.1 イ	2009 年 冬 号
	マルベリーボーイズ	17	933 ナ	2010 年 秋 号
	水のことは	27	452 ネ	2010 年 春 号
	水底の棺	8	913 ナ	2008 年 冬 号
	ミムス—宮廷道化師—	17	943 タ	2010 年 冬 号
	ミルクウィード天使の羽のように	18	933 ス	2010 年 冬 号
	みんなのなやみ	28	15 シ	2007 年 秋 号
	メープルヒルの奇跡	18	933 ソ	2007 年 春 号
や	夕暮れのマグノリア	9	913 ア	2011 年 春 号
	雪は天からの手紙	28	908 イ	2011 年 冬 号
	夢の彼方への旅	18	933 イ	2008 年 秋 号
	四字熟語ショウ	3	E	2008 年 夏 号
	義経千本桜	9	912 ポ	2009 年 春 号
	夜のピクニック	9	913.6 オ	2007 年 秋 号
ら	リボン	9	913 ク	2010 年 春 号

索引 (季節別)

春

★絵本★

○ ものがたり	ページ	請求記号
木を植えた男	3	E
○ 知識の本		
くうきのかお	3	E

★読み物★

○ ものがたり (日本)			
哲夫の春休み	7	913	サ
春のオルガン	7	913	ユ
夕暮れのマグノリア	9	913	ア
義経千本桜	9	912	ポ
リボン	9	913	ク
○ ものがたり (外国)			
青いイルカの島	10	933	オ
アグリー・ガール	11	933	オ
おばあちゃんはハーレーにのって	12	933	ボ
草花とよばれた少女	13	933	カ
雲じゃらしの時間	13	933	ブ
三国志 上・中・下	14	908	イ
縞模様のパジャマの少年	14	933	ボ
僕らの事情。	17	933	ヒ
メープルヒルの奇跡	18	933	ソ
○ 詩・ことば			
おはつ	20	911.5	ク
詩集ころのうた	19	911	ヤ
すこやかに おだやかに しなやかに	21	911.5	タ
○ 知識の本			
アフガニスタン山の学校の子どもたち	22	74	カ
一色一生	23	753	シ
ジャガイモの花と実	25	47	イ
15歳の寺子屋「フラフラ」のすすめ	22	28	マ
世界のたね	25	40	ニ
水のことは	27	452	ネ

夏

★絵本★

○ むかしぼなし	ページ	請求記号
スマントリとスコスロノ	1	E
○ ものがたり		
彼の手は語りつぐ	1	E
○ 詩・ことば		
四字熟語ショウ	3	E
○ 知識の本		
ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸	4	E
天動説の絵本	4	E

★読み物★

○ ものがたり (日本)			
家守綺譚	5	913.6	ナ
四季のピアニストたち下 九月の雨	6	913.6	サ
四季のピアニストたち上 サマータイム	6	913.6	サ
しゃばけ	6	913.6	ハ
盾 SHEILD	7	913	ム
香港の甘い豆腐	8	913.6	オ
○ ものがたり (外国)			
赤毛のアン	10	933	モ
ウルフ・サーガ 上・下	11	943	レ
ギフト 西のはての年代記 I	12	933	ル
銀の枝	13	933サ/908	イ
シカゴよりこわい町	14	933	ペ
ステフィとネツリの物語	15	949	ト
砂のゲーム ぼくと弟のホロコースト	15	929	オ
FLUSH	10	933	ハ
希望のいる町	17	933	バ
○ 詩・ことば			
アーサー・ビナード詩集 ゴミの日	19	911	ビ
孔雀のパイ	19	931	デ
○ 知識の本			
さかなのなみだ	25	37	サ
世界を動かした 塩の物語	26	66	カ
だまされる目 錯視のマジック	26	14	セ
NASAより宇宙に近い町工場	22	538	ウ
半分のふるさと	26	916	イ
ヒトラー・ユージェントの若者たち	26	37	バ

索引 (季節別)

秋

★絵本★

○ ものがたり	ページ	請求記号
オーケストラの105人	1	E
○ ちしきのほん		
時間の森～屋久島	4	E
ジャンヌ・ダルク伝	3	E

★読み物★

○ ものがたり (日本)			
風の中のマリア	5	913.6	ヒ
幸子の庭	6	913	ホ
鹿男あをによし	6	913.6	マ
東京・自然農園物語	7	913.6	ヤ
ビート・キッズ I・II	8	913.6	カ
武士道シックスティーン	8	913.6	ホ
夜のピクニック	9	913.6	オ
○ ものがたり (外国)			
王への手紙 上・下	11	908	イ
おやすみなさいトムさん	12	933	マ
サリーの帰る家	14	933	オ
とむらう女	15	933	エ
びんの悪魔	16	933	ス
僕たちの砦 A LITTLE PIECE OF GROUND	10	933	レ
マルベリーボーイズ	17	933	ナ
夢の彼方への旅	18	933	イ
○ 詩・ことば			
ことばのかしゃべる・聞く・伝える	20	81	カ
このあいだのかげに	20	911	ヒ
○ 知識の本			
宇宙のかけら	23	440	タ
科学と科学者のはなし	24	908	イ
国境を越えて	25	31	カ
知への欲求、未知への挑戦	24	28	ガ
ブナの森は宝の山	27	65	ヒ
みんなのなやみ	28	15	シ

冬

★絵本★

○ ものがたり	ページ	請求記号
しあわせな ふくろう	2	E
氷河ねずみの毛皮	2	E

★読み物★

○ ものがたり (日本)			
一億百万光年先に住むウサギ	5	913	ナ
風が強く吹いている	5	913.6	ミ
水底の棺	8	913	ナ
○ ものがたり (外国)			
アリスの見習い物語	11	933	ク
オオカミ族の少年-クロニクル千古の闇1	13	933	ペ
カッティング ルース 上・下	12	933	リ
スノーグース	15	933	キ
猫の帰還 Blitzcat	16	933	ウ
ヘラジカの森で	16	933	カ
辺境のオオカミ	16	933	サ
ミムス—宮廷道化師—	17	943	タ
ミルクウィード天使の羽のように	18	933	ス
○ 詩・ことば			
THE ANIMALS どうぶつたち	19	911	マ
写真短歌部 放課後	20	911.1	カ
百人一首大事典	21	911	ア
二人が睦まじくいるためには	21	911.5	ヨ
○ 知識の本			
アラスカ 光と風	23	29	ホ
うめめ Today's Happening	23	748	ウ
絵のえほん	24	724	ハ
絵本 夢の江戸歌舞伎	24	774	ハ
100年前の女の子	22	289.1	フ
風呂敷	27	38	モ
まだ17才だけど、人生って面白いと思う	27	289.1	イ
雪は天からの手紙	28	908	イ

よんでネット < 中学・高校生 >

NO. 22～NO. 41

平成27年（2015年）3月発行

茅ヶ崎図書館・子どもの本の会／編

編集・発行／茅ヶ崎市立図書館

〒253-0053

茅ヶ崎市東海岸北一丁目4番55号

電話 0467（87）1001（代）

FAX 0467（85）8275

ホームページ <http://www.lib.chigasaki.kanagawa.jp/>

メールアドレス library@city.chigasaki.kanagawa.jp

